

**技術士補**

(20歳代)



**技術士**

(35歳～)

**【国際的通用性】**

- ・IEAの「エンジニア」に相当  
例)複合的な問題を明確化・調査・分析
- ・APECエンジニア(11分野)・・・日豪協定
- ・IPEAエンジニア(分野なし)

(技術部門:21部門)

- 機械部門
- 船舶・海洋部門
- 航空・宇宙部門
- 電気電子部門
- 化学部門
- ・・・
- 総合技術監理部門

**【総合技術監理部門】**

- ・技術部門の1つ(同列)
- ・「工学一般」「基礎工学」等のエンジニアリングマネジメントを工学分野の1つとして、これに相当する技術体系を整理
- ・事項や内容の追加(深い国際性、防災等)

**【技術士フェロー(仮称)】**

(目的)

技術士の継続的な資質向上(CPDとの連携)

(付与者)

技術士のコミュニティ(例:日本技術士会)による称号(民間称号)

(付与条件)

技術士取得後、以下の条件を満たした者へ付与

- ・一定の実務経験を経た者
- ・一定の継続研さんを経た者
- ・当該技術において著しい貢献があったと認定された者 等

**【活用】**

- ・国・地方公共団体における公共事業等
- ・企業内技術者の育成プロセス 他

**【他の国家資格等との相互活用】**

- ・情報処理技術者試験 等